

羅 針 盤			方 策		第1回 点検・評価			第2回 点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目	改 善 策		自己評価	外部アンケート等	改 善 策	自己評価	外部アンケート等	改 善 策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	① 進学型総合学科としての教育課程に、満足している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・選択科目及び群編成を検証し、総合学科の特色を生かした、進学型の教育課程になるよう更に改善を図る。 ・習熟度別授業等、効果的な指導を推進するとともに、主体的・対話的視点から授業改善を図る。 ・生徒一人ひとりの自己存在感を高められるよう、学校生活の活動内容を工夫し、生徒一人ひとりに活躍の場をつくる。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路希望等に基づき、教育課程委員会や教科会議等で選択科目及び群編成を検討し改善を図る。 ・習熟度別・少人数制授業を効果的に実施するとともに、授業アンケートの結果を参考に授業改善を図る。 ・教育活動全体を通じて、生徒一人ひとりの自己存在感や自己有用感を高める取組や指導を推進する。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・選択科目及び群編成を検証し、総合学科の特色を生かした、進学型の教育課程になるよう更に改善を図る。 ・習熟度別授業等、効果的な指導を推進するとともに、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図る。 ・生徒一人ひとりの自己存在感を高められるよう、生徒一人ひとりの能力を認め、活動を適宜評価していく。 	
		② 習熟度別・少人数制の授業形態に、満足している生徒が80%以上である。		A	A		A	A		
		③ 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合は、80%以上である。		A	B		A	B		
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④ 「授業が分かりやすい」と評価している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・双方向授業の推進を図り、学力の定着を確認しながら、生徒の主体的・能動的な授業を展開する。 ・授業目標の明確化を図るとともに、生徒が明確な達成目標を持って学習に取り組めるよう指導する。 ・言語活動の充実を図るとともに、ICTを活用した授業を行うなど、学校全体で授業改善を推進する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動を中心とした取組で、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を展開する。 ・授業のねらいを明確にするとともに、生徒が意欲的に取り組み、学習成果を実感できるように工夫する。 ・将来構想委員会を中心となり、言語活動の充実やICTを活用した研究授業を実施し、授業改善に資する。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・各科目の授業アンケート結果を踏まえながら、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。 ・生徒が明確な達成目標を持って意欲的に学習に取り組めるよう、更なる授業目標の明確化を図る。 ・言語活動の充実を図るとともに、多くの教員が最低一度はICTを活用した授業に取り組むなど、学校全体で授業改善を推進する。 	
		⑤ 意欲的に学習に取り組んでいると自己評価している生徒が、80%以上である。		A	B		A	B		
		⑥ 授業に対する生徒の評価を年2回実施し、各職員・各教科で検討し授業改善に生かす。		A	A		A	B		
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑦ 授業改善のため、教科の枠を超えて研究授業、授業公開、授業研究等を年2回以上実施する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教員同士が専門以外の授業を見合う取組や教科代表者による研究授業・授業研究等を継続して実施していく。 ・教科・科目の目標を確実に達成するとともに、各生徒の進路希望を踏まえ、個に応じた指導を一層推進する。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業や授業研究、公開授業等を通して、授業改善について情報共有を図り、個々の授業に生かす。 ・校外の研修等への積極的な参加を促し、教員の資質や能力の向上を図り、学習指導の充実を図る。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・教員同士が専門以外の授業を見合う取組や教科代表者による研究授業・授業研究等を継続して実施していく。 ・教科・科目の目標を確実に達成するとともに、進路実現に役立つ、効果的な指導を行う。 	
		⑧ 本校の学習指導は、進路実現に役立つと答えている生徒が80%以上である。		A	A		A	A		
		⑨ 生徒会活動が充実していると評価した生徒が、80%以上である。		A	A		A	B		
IV 生徒の主体的進路選択について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑩ 部活動が充実していると評価している生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会行事は、実行委員会を設置し、生徒会役員と連携を図りながら、生徒の主体的な活動を促進する。 ・文武両道の発展を目指し、学習活動と部活動の両面にわたり成果をあげられるよう、それらのバランスを重視する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員や実行委員の生徒を中心に企画・運営を任せ、生徒が主体的に取り組めるようサポートする。 ・学習活動及び部活動のスムーズな切り替えを図り、文武両道の更なる発展を目指す。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒服装規定の改定を生徒自らが取り組みよう、生徒会役員と連携を図りながら生徒の主体的な活動を促進する。 ・文武両道の発展を目指し、学習活動と部活動の両面で成果をあげられるよう、それらのバランスを重視する。 	
		⑪ 欠席率が3%以下である。		A	A		A	A		
		⑫ 相談室やスクールカウンセラーの活用(申込等)方法を知っている生徒が60%以上である。		A	C		A	C		
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬ 東高は規律ある学校だと評価している生徒が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・連続して欠席した生徒に対しては、担任を中心に生徒の実態を把握し、学年と教育相談係が連携して対応する。 ・年度当初に案内文書を配付するとともに、ホームページにて周知を図る。 ・常日頃から基本的な生活習慣の重要性を生徒に理解させるとともに、生活習慣の乱れを見逃さずに指導する。 ・いじめゼロを目指し、全職員が協力して未然防止、早期発見及び早期対応に努める。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学年で生徒の出欠状況を把握し、連続して休む生徒に対しては、学年と教育相談係、SCが連携して対応する。 ・教育相談を必要とする生徒が年々増加しているため、相談者の利便性について更なる向上を図る。 ・「前東スマホルール」の策定などを通じて、基本的な生活習慣と規律ある生活態度の意識付けを図る。 ・学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめゼロを目指して、未然防止、早期発見、早期対応に努める。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・連続して欠席した生徒に対しては、学年を中心に生徒の実態を把握し、教育相談係、SC、主治医と連携して対応する。 ・スクールカウンセラーだよりを定期的に発行し、相談利用者の周知を図る。 ・基本的な生活習慣の重要性を生徒に理解させ、規律正しい学習活動や部活動に前向きに取り組んでいく。 ・いじめゼロを目指し、全職員が協力して日々情報の共有を行い、未然防止、早期発見及び早期対応に努める。 	
		⑭ いじめの発生防止に努め、いじめの解消率が100%である。		A	B		A	A		
		⑮ 進路プランニングを通して習得した知識・理解、思考力・判断力・表現力を様々な教育活動の中で生かし、生徒それぞれの実践力の向上を図る。		A	A		A	A		
VI 生徒の主体的進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑯ 学校から提供される「進路の手引」・進路講演会等の情報が役立つと評価している生徒が、80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に対する意欲を高められるよう、生徒に有用な情報を収集して資料作成や講演に生かす。「進路の手引」については、進路指導や面談等において積極的に活用していく。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を通じた進路プランニングの取組をより一層充実させ、生徒自ら質の高い調査・研究を行う意欲と態度を育成する。 ・進路指導部が中心となって進路に関する様々な情報を収集し、進路の手引や進路講演会等の工夫・改善を図るとともに、生徒の進路実現に向けた意欲と行動力の向上を図る。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自主的・積極的に進路プランニングに取り組めるよう、総合学科研究部と学年が連携を図り、指導内容について見直しを行う。 ・進路実現に対する意欲を高められるよう、生徒に有用な情報を収集して資料作成や講演に生かす。早期に「進路の手引」を作成し、進路指導や面談等で積極的に活用する。 	
		⑰ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が、70%以上である。		A	A		A	B		
		⑱ PTA総会・授業公開・学級懇談会等に出席している保護者が、50%以上である。		A	A		A	B		
VII 開かれた学校づくりに努めていますか。	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑲ 前東のホームページを見て、学校の情報を得ている保護者が、60%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会等に参加した保護者の意見を参考に、満足度が向上するように、年度ごとに内容等(今年度は授業公開を増やした)を工夫する。 ・質と量の両面においてホームページの充実を図るとともに、教育活動の成果や緊急の連絡などが即時性を高める。 	B	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路実現に向けて、客観的な成績分析を行うとともに、生徒に対して必要な情報や適切な取組等を個別に提供する。 ・PTA総会や各種行事等の出席率がより高まるよう、日程等を工夫するとともに、内容の充実を図る。 ・学校行事や部活動大会成績等、ホームページの更新に努め、掲載内容について一層の充実を図る。 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導部職員の常駐などにより、進路指導室の利用環境の整備促進を図る。 ・PTA総会等に参加した保護者の意見を参考に、満足度が向上するように、年度ごとに内容等を工夫する。 ・ホームページを見る時間のない保護者が少なからずいるので、一斉メールでの情報発信も考える。 	
		⑳ 質と量の両面においてホームページの充実を図るとともに、教育活動の成果や緊急の連絡などが即時性を高める。		A	C		A	C		